



発行 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801 入園料：無料
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41 利用時間：4月～10月/9時～16時30分
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会 11月～3月/9時～16時

HPはこちら!

6月23日の新聞で仙台駅西口ロータリー周辺に生い茂った雑草を取り上げていました。小見出しに「温暖化で伸び早く 連日苦情」とあり、身につまされる思いで記事を読みました。確かに温暖化の影響で雑草が伸び始める時期が早まり、草丈も長くなっている実感があります。

今年は梅雨が短く気温は平年よりも高くなると予想されていますが、安全で快適に散策していただけるよう、暑さに負けず草刈りをしております。安心して夏の県民の森にお越しください。(所長：森山稔也)

■遊歩道の除草作業に注意■



今年は植物が例年になく勢いで生い茂り、作業班も除草作業に悪戦苦闘しております。7月中はボランティア部隊も参入しての除草作業が行われます。作業中は危険なので近づかないでください。

■ハチに注意!!■

今年はハチが多いです。アスレチック付近など、危険と思われる場所に設置してある『ハチトラップ』にも近づくと危険です。



今の時期は巣を作り始めたばかり! 刺激しなければ比較のおとなしく、人を襲うことも少ないです。出会った場合は、刺激せずにそっとその場を離れ、管理事務所までお知らせください。

小ホール 7/1～29

「コラボイベント」

利府写真愛好会写真展



トンボ標本展 加虫アタリ



勝ち虫フェア

県民の森のお勧めスポット～NO30～ 夏の昆虫を楽しむ

四季の森ハイキングコース

7月の県民の森はたくさんの昆虫を観察することができます。日差しが強い林縁ではコムラサキ、ミドリヒョウモン、コムスジ、クジャクチョウ、ルリシジミ、ベニシジミ、キマダラセセリ。



ベニシジミ

コムスジ



ルリシジミ

水辺にはニホンカワトンボ、モノサシトンボ、ホタル類、林内はスミナガシやクロヒカゲ、キマダラヒカゲなどのタテハチョウ類が彩り豊かに目を楽しませてくれます。

アブラゼミ

オオオバタル

森の中の昆虫たちは目だけでなく、7月上旬から順にニイニイゼミ、ヒグラシ、アブラゼミ、ミンミンゼミと賑やかに歌い、耳も楽しませてくれます。

そんな昆虫たちを一同に観察できるのが四季の森です。県民の森を散策するときには植物だけでなく小さな昆虫たちにも目を向けてみてください。新しい楽しみを発見できるかもしれません。(石川)

ニイニイゼミの抜け殻



キマダラセセリ

けんみんのもり写真館

今月の

スタッフが見つけたしぜんのひとコマ

キセキレイ
黄鶺鴒
(スズ目セキレイ科)

クララ
苦参・眩草
(マメ科クララ属)

Chusshiki



メス

頭頂から背は灰色、胸からお腹まで鮮やかな黄色、水辺で尾羽を上下に振りながらチョコチョコと一所懸命虫を探してます(体長約21cm)。

オスは喉が黒いのが目印。時々「チンチン」と鳴きながら波を描くように飛んでいく姿で気がつくこともあります。

身近なハクセキレイよりも少し標高の高いところに分布しますが、県民の森でも菅野沢の溜池辺りなどで、稀に見かけます。

冬は少し暖かい地域に集団で移動します。(絵:秀・文:もち)

Chusshiki



オス

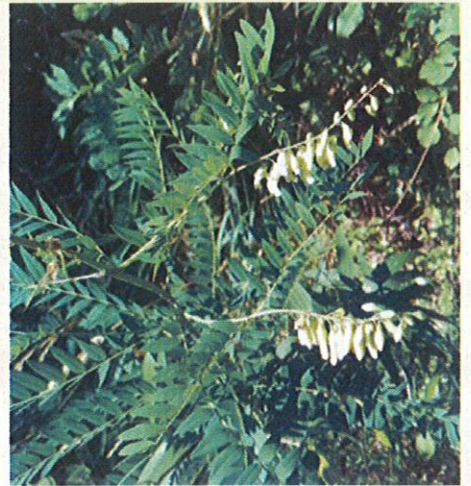
ナツツバキ 夏椿
シャラノキ 沙羅
(ツバキ科ナツツバキ属)



中央記念館の通称ツバキの道の降り口でシキミの道分岐と青少年の森・学び舎横の庭に植栽されています。

初夏に一日花と云われる白い花を咲かせ、裂果した果実がいつまでも残っており、まだら模様になった幹でも判断が容易です。若木の時からはがれて美しいまだら模様となることから、公園や庭木及び寺院によく植栽されます。幹の美しさなどから床柱に利用されます。

まだらでつるつるの幹はサルスベリやリョウブとよく似ているので、残った果実や枝など比較観察しての判断が必要です。(森谷)



なにやらあやしい名前ですが、れっきとした在来種です。根をかじるとクラクラとめまいがするほど苦いことから、眩草(くららぐさ)と呼ばれていたのが名前の由来といわれています。生薬名は「苦参」(くじん)で利尿、消炎作用があり、民間では殺虫剤、便所のウジ殺しに利用されていたそうです。



日当たりの良い山野の道端や野原などに自生していますが、近年自然環境の変化による自生地の減少により、数を減らしています。

クララはオオルリシジミ(日本在来の蝶類)の唯一の食草のため、オオルリシジミは現在、絶滅危惧種になってしまいました。

数少ないオオルリシジミの生息地長野県安曇市では、オオルリシジミを保護しようと、市民が協力してクララを守り育てる活動をしているそうです。

クララは県民の森・四季の森にも自生しています。大事に守り育てれば、いつかオオルリシジミが復活する姿を見ることができるよう日がくるかもしれません!!! (片岡)

◆ごみは持ち帰ろう!

きれいな公園を守ろう!



STOP



不法投棄

ごみは自然にはくさらないものばかりです。

◆宮城県 県民の森管理事務所◆